山崎 敬*: 日本および台湾に産するツルモウリンカとその近縁種

Takasi Yamazaki*: Tylophora tanakae Maxim. and allied species in Japan and Taiwan

ツルモウリンカ T. tanakae は茎や葉柄にややねた屈毛がはえ,がくの外面に 長毛が散生する。花冠裂片は披針形で先はやや鈍く,しばしば先端はややへこみ,内面は全く無毛で,顕微鏡で見てもまれに短毛がある程度である。花冠裂片の側脈の先はしばしば分枝して,その一部は下方へ走る(Fig. 1a)。こうした性質でツルモウリンカは T. vouta よりインドから華南に分布する T. tenuis Bl. に縁が近いように 思われる。 九州南部から琉球全体に分布する。伊豆半島にもあるというが私はまだ標本を見ていない。

琉球と小笠原の中間にある大東島には茎や葉柄の毛が少なく、がくは全く無毛のものがある。外観は後述する T. brownii によく似ているが、花冠裂片の先は鈍くて逆向きの細脈があり、内面は全く無毛であるので、種類としてはツルモウリンカに属すと考えられる。これをケナシツルモウリンカ T. tanakae var. glabrescens という。初島住彦氏によると宮古島、与那国島、魚釣島にもあるというが私は標本を見ていない。紅頭嶼にも類似したものがあるが標本が一枚だけなので確認するまでにはいかない。この学名は正規に発表されていないようなのでここで記載しておく。基準標本は初島氏と一諸に採集したものである。

T. ovata は中国南部と台湾に分布する。台湾のものは 茎や葉柄にやや立った毛が密にはえ、がくには長毛が散生する。花冠裂片は三角状披針形で先はするどくとがり、内面は一見無毛に見えるが、顕微鏡で見ると短い毛がやや密にはえる。花冠裂片の脈は殆んど分枝せず、逆向きに走る細脈もない (Fig. 1b)。中国大陸の T. ovata は花柄やがくに長毛がやや密にはえ、花冠裂片は卵形で、内面には軟毛がルーペでもよくわかるほどに密生している。したがって台湾のものは変種として区別してよいと考えられる。学

^{*} 東京大学 理学部付属植物圈。 Botanical Gardens, Faculty of Science, University of Tokyo, Tokyo 112.

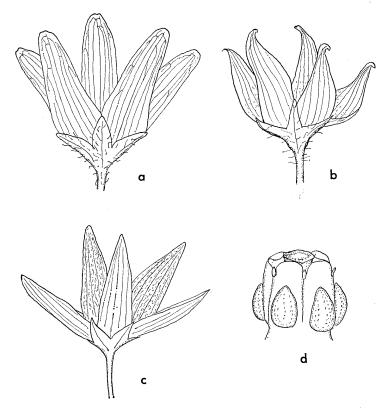


Fig. 1. a. Tylophora tanakae, flower (Ryukyu, Ishigaki, Yarabu, Yamazaki s.n.). b. T. ovata var. brownii, flower (Taiwan, Cholu, Namba et al. no. 1146.). c, d. T. brownii, (Taiwan, Kuraru, Kawakami no. 1648), c, flower; d, gynostegium. a-c ×10, d ×25.

名は T. ovata (Lindl.) Hook. var. brownii (Hayata) Tsiang et P.T. Li がそれにあたる。早田先生や蔣・李氏は台湾のものすべてにこの名を使ったわけでなく,茎や葉に毛の少ない一部のものにこの学名を使用したが,これとは意味を異にし台湾産のすべてにこの学名を使ってよいと思う。

T. brownii は早田先生が明治44年に台湾の恒春半島から報告したものであるが、長らく T. ovata の異名として扱われてきた。 これは茎や葉柄に 屈毛が散生するが、茎は古くなると無毛になり、葉の裏面の毛も少ない。 花柄やがくは全く無毛である。 花冠裂片は披針形で先はややとがり、内面には軟毛が密生する。 花冠裂片の脈は上部であまり分枝せず、逆向きに走る細脈もない (Fig. 1c)。 一見ケナシツルモウリンカに似るが、

花冠裂片の内面に軟毛が密生するので異なる。 紅頭嶼から書かれた T. lanyuensis は これと同じものと思われる。

以上のように日本、台湾のツルモウリンカ類には日本に1種、台湾に2種を認めることができる。台湾の近縁種の学名にともに Brown の名が使われることはまぎらわしいが、早田先生がガガイモ科の新植物を発表する際、当時この専門家であったイギリスの E.N. Brown 氏の教示を受けたことによる。上記3種は一応種類として認められると思うが、その差異は微妙であり、中国のものや、Tylophora だけで14種も書かれているフィリピンの種類も含めて再検討の必要がある。

T. lanyuensis の資料を送って下さった台湾大学の劉棠瑞先生に深謝致します。

- - C. Stems and petioles with sparse bending hirsute hairs; calyx and pedicels glabrous; corolla-lobes lanceolate, acute, inside villose.....T. brownii

Tylophora tanakae Maxim. in Bull. Acad. Sci. St.-Pétersb. 23: 379 (1877).

Tylophora hispida Decne. var. tanakae (Maxim.) Hatusima in Hokuriku
Journ. Geobot. 12: 10 (1963). ツルモウリンカ.

Distr. S. Kyushu and Ryukyus.

var. **glabrescens** Hatusima [in Daitozima-tennenkinenbutsu-tokubetsuchosa-hokokusho 31 (1973), nom. nud., Fl. Ryukyus ed. 2, 889 (1975), nom. nud.] ケナシツルモウリンカ.

Pedicels et calvces glabra.

Hab. Ryukyus: Isl. Kita-daitozima (T. Yamazaki, Oct. 4-5, 1972, no. 576, type in TI).

Tylophora ovata (Lindl.) Hook. ex Steud. var. **brownii** (Hayata) Tsiang et P.T. Li in Act. Phytotax. Sin. 12: 134 (1974), sensu emend., excl. syn. *T. Brownii* et specimina Hainanentia; in Fl. Republ. Peop. Sin. 63: 536 (1977).

Tylophora hispida Decne. var. brownii Hayata, Mat. Fl. Form. 196 (1911).

Tylophora ovata (Lindl.) Hook, sensu Lu et Kao in Fl. Taiwan 4: 244, f. 987 (1978).

Hab. Taiwan: Taipei Hsien; Keelung (T. Makino, Nov. 5, 1896, s.n., TI), Tamsui (T. Makino, Nov. 19, 1896, s.n., TI), Kuangyin-shan (I. Sasaki, Sept. 13, 1965, TI). Iran Hsien; Nai-taroko (E. Matuda, Aug. 10, 1918, no. T-572, TI). Hualien Hsien; Gukutu (E. Matuda, Aug. 7, 1918, no. T-547, TI), Antung (Namba et al., Aug. 12, 1968, no. 2033, TI). Taitung Hsien; Mawuku (Kawakami et Kobayashi, Aug. 11, 1907, no. 5603, type of *T. hispida* var. brownii, TI), near Cholu (Namba et al., Aug. 17, 1968, no. 1146, TI), near Chihpen (Namba et al., Aug. 1, 1968, no. 692, TI). Pingtung Hsien; Kaukaukei (B. Hayata, May 15, 1916, s.n., TI).

The Taiwan plants of this species differ from the typical form by the pedicels and calyces sparsely hirsute generally and the corolla-lobes glabrous outside, inside glabrescent in appearance but with dense short pilose hairs under the microscope.

Tylophora brownii Hayata, Mat. Fl. Formos. 195 (1911).

Tylophora lanyuensis Y.C. Liu et F.Y. Lu in Y.C. Liu, Lign. Pl. Taiwan 624, ph. 2 (1972); Lu et Kao in Fl. Taiwan 4: 244 (1978), syn. nov.

Hab. Taiwan: Hengchun Pen.: Kuraru (T. Kawakami, Jul. 2, 1906, no. 1648, type of *T. brownii*, TI), ibid. (K. Kimura, May 15, 1932, s.n., TI). Isl. Lanyu (G. Ikeda, Aug. 4-17, 1968, no. 2325, TI).